

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1740090 \_ 001

## 【1.基本情報】

事業名	岐阜公園再整備事業					
担当部名	都市建設部			担当課名	歴史まちづくり課	
実施方法	直営		補助等の種類		実施主体	岐阜市
開始・終了年度	平成	25	年度～	令和	10	年度 根拠法令・関連計画 都市公園法、岐阜市都市公園条例、 地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	岐阜公園が持つ信長公居館跡などの歴史的価値と、金華山・長良川などの豊かな自然環境を活かした本格的な「歴史公園」として再整備を推進する。					
内容 (手段・手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>信長公が活躍した戦国時代の歴史的価値の顕在化</li> <li>歴史的価値を学習するための施設整備</li> <li>近代の歴史的資産や自然と調和した都市公園としての整備</li> </ul>					
事業の 対象	何を	岐阜公園				
	誰に	市民及び観光客				
	どのくらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドンス機能や庭園の整備</li> <li>近代に建設された建造物を活かす修景整備、広場機能の確保、緑陰やせせらぎを楽しめる散策路の整備など</li> </ul>				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	<ul style="list-style-type: none"> <li>忠節用水路の文化的な景観や周辺の自然景観などを活かしたせせらぎ緑道整備を実施</li> <li>清流長良川が一望できるデッキや軽スポーツなどが楽しめる花木広場の整備を実施</li> <li>国史跡岐阜城跡と連携した施設整備や民間活力を活かした施設整備などの検討を実施</li> </ul>					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	12,675	390	16,796	520	24,804	780
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	12,675	390	16,796	520	24,804	780

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	委託費	26,139	12,718	38,257
	用地・補償費	377,496	236,249	57
	工事費	53,918	106,053	191,855
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		458,271	355,222	230,169

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	470,946	372,018	254,973

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	338,400	258,656	31,464
県支出金	0	0	0
市債	91,100	45,300	129,300
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	429,500	303,956	160,764

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	41,446	68,062	94,209

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	市民及び観光客	市民及び観光客	市民及び観光客
受益者数	660,000	670,000	1,080,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	63	102	87

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	公園施設の新設・改修		単位	箇所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	1	1	1	
実績値	1	1	1	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	来園者数の増加		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	1,120,000	1,120,000	1,120,000	
実績値	659,261	671,769	1,084,353	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	シビックプライドの醸成と観光振興による産業活性化を図るため必要である。 管理者である本市が担う必要がある。 本格的な歴史公園として整備を進めている類似の事業はなく、必要である。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	再整備を進めることで、観光拠点にふさわしい歴史公園としての価値が高められている。 来園者へのサービスの充実を図るため、民間活力を活かした公園施設の整備、管理運営手法を今後も継続して検討する必要がある。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込みか ※【2】【7】から	高	岐阜公園の来園者数が約41万人増加するなど、整備効果が得られている。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	来園される皆さまが利用することができ、適正である。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	岐阜公園が持つ歴史的価値と金華山・長良川の自然環境を活かした本格的な「歴史公園」として再整備を推進するとともに、「国史跡岐阜城跡」との連携や民間活力を活かした施設整備の検討など、全国に誇る歴史資産、観光資源としての魅力を高められるよう、今後も継続して実施する。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1740090 \_ 002

## 【1.基本情報】

事業名	「ぎふ・いざナビ」を活用したまちなか歩き支援事業					
担当部名	都市建設部		担当課名	歴史まちづくり課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	19	年度～	年度	根拠法令・関連計画	まちなか歩き構想

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	QRコードを活用した「ぎふ・いざナビ」や案内マップ「まちなか歩きガイド」により、まちなかを歩きを支援するための情報(観光・歴史・散策コースなど)を提供する。					
内容 (手段・手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ぎふ・いざナビ」で、歴史文化・観光情報を発信</li> <li>QRコードを、歩行者系サイン(案内板)やバス停時刻表、観光施設などに設置</li> <li>折たたみ式のマップを印刷・配布(1万部)</li> </ul>					
事業の 対象	何を	歴史文化、観光、散策コースの情報				
	誰に	市民及び観光客				
	どのくらい	・「ぎふ・いざナビ」はコンテンツ数213 ・「まちなか歩きガイド」は1万部(A2版カラー両面刷り、ミウラ折り)作成、長良川右岸(長良地区)・岐阜公園周辺から加納地域までの中心市街地の情報を掲載				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,625	50	1,615	50	1,590	50
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,625	50	1,615	50	1,590	50

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		1,216	2,006	1,525
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	マップ印刷代	1,018	1,018	1,018
	いざナビ保守管理	198	988	507
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,216	2,006	1,525

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	2,841	3,621	3,115

## 【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	90	175	130
計(F)	90	175	130

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	2,751	3,446	2,985

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	市民及び観光客	市民及び観光客	市民及び観光客
受益者数	11,396	11,748	11,401
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	241	293	262

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	マップの印刷		単位	部
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	10,000	10,000	10,000	
実績値	10,000	10,000	10,000	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	本市の歴史や文化に触れる人数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	21,000	21,000	21,000	
実績値	23,879	20,000	23,228	
達成状況	○(達成)	×(未達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	まちなかを歩いて巡る「まちなか歩き構想」を実現するために必要である。 市民及び観光客がまちなか散策をするため、市が歴史文化、観光などの情報を提供することは必要である。 まちなか歩きに適した折りたたみ式のマップは他になく、必要である。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	QRコードなどにより、まちなか歩きに必要な情報を提供することで得られる効果とコストを比較すると妥当である。 情報の多言語化など、市民や観光客がより「歩き」を楽しむことができる仕組みに発展させる必要がある。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	目標を超える多くの方に本市の歴史や文化に触れていただくことに寄与しており、効果をあげている。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	平等に利用することができ、適正である。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	市民や観光客に必要な観光名所の解説などの情報提供ツールとして効果があるため、今後も継続して実施する。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	1740090	003
----	---------	-----

## 【1.基本情報】

事業名	まちなか歩き回廊推進事業					
担当部名	都市建設部		担当課名	歴史まちづくり課		
実施方法	委託(出資団体)	補助等の種類		実施主体	(一財)岐阜市にぎわいまち公社	
開始・終了年度	平成	19	年度～	年度	根拠法令・関連計画 まちなか歩き構想	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	まちなかを歩いて巡り、ゆったりとした時間を過ごし楽しむことのできる「まちなか歩き」を推進する。					
内容 (手段・手法など)	・ウォーキングイベントを実施 (金華地区における歴史をテーマとしたウォーキング)					
事業の 対象	何を	まちなか歩きのイベント				
	誰に	市民及び観光客				
	どのくらい	初夏と秋に実施(初夏は半日、秋は2日程度)				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	交通量の把握方法を交通量調査からビッグデータを活用した把握に変更した。					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,300	40	646	20	636	20
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,300	40	646	20	636	20

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		2,490	638	2,090
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	イベント開催	1,878	0	2,090
	交通量調査	612	638	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		2,490	638	2,090

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	3,790	1,284	2,726

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)		
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	3,790	1,284	2,726

**【6.コストバランス】**

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	イベント参加者	イベント参加者	イベント参加者
受益者数	3,879	0	3,228
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	977	0	844

**【7.指標】**

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	イベントの開催		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	2	2	2	
実績値	1	0	2	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	本市の歴史や文化に触れる人数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	21,000	21,000	21,000	
実績値	23,879	20,000	23,228	
達成状況	○(達成)	×(未達成)	○(達成)	

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	まちなかを歩いて巡る「まちなか歩き構想」を推進するために必要である。 市民及び観光客にまちなか散策を楽しんでいただくため、市が歴史文化、観光などのイベントを定期的に開催することは必要である。 本市の本物の歴史を題材にしたウォーキングイベントは他になく、必要である。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	ウォーキングイベントは千人規模の参加があり、コストと比較すると効果を上げている。 委託先のにぎわいまち公社が持つ、地域住民やまちづくり団体とのネットワークを活用し、地域に根差した内容のイベントになっている。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	目標を超える多くの方に本市の歴史や文化に触れていただくことに寄与しており、効果をあげている。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	平等に利用することができ、適正である。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	まちなかの回遊性向上を図り、にぎわいを創出するため、今後も継続して実施する。実施に際しては、「まちなか歩き構想」に基づき、趣向を凝らしたイベントとする。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1740090 \_ 004

## 【1.基本情報】

事業名	三輪の歴史文化散策構想実施事業					
担当部名	都市建設部		担当課名	歴史まちづくり課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	21	年度～	年度	根拠法令・関連計画	三輪の歴史文化散策構想

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	三輪地区の文化財及び歴史文化資産の価値を地域住民、市民及び来訪者に知っていただくため、それらを巡るための散策コースを設定し周知する。					
内容 (手段・手法など)	折たたみ式のマップを印刷・配布(1万部)					
事業の 対象	何を	三輪地区の歴史文化の情報				
	誰に	市民及び観光客				
	どのくらい	マップを1万部(A2版カラー両面刷り、ミウラ折り)作成				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	975	30	969	30	954	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	975	30	969	30	954	30

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		1,018	1,018	1,018
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	マップ印刷代	1,018	1,018	1,018
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,018	1,018	1,018

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	1,993	1,987	1,972

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	80	80	70
計(F)	80	80	70

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	1,913	1,907	1,902

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	市民及び観光客	市民及び観光客	市民及び観光客
受益者数	10,000	10,000	10,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	191	191	190

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	マップの印刷		単位	部
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	10,000	10,000	10,000	
実績値	10,000	10,000	10,000	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	本市の歴史や文化に触れる人数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	21,000	21,000	21,000	
実績値	23,879	20,000	23,228	
達成状況	○(達成)	×(未達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	「三輪の歴史文化散策構想」にある散策コースの情報を市民及び観光客に周知し、活用してもらうために必要である。 市民及び観光客が地域を散策するため、市が地域の歴史文化の情報を提供することは必要である。 地域の歴史文化を散策コースにまとめたマップは他になく、必要である。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	散策マップの配布により得られる歴史文化資産の周知効果とコストを比較すると妥当である。 マップは、地元の自治会連合会との協働で作成している。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	目標を超える多くの方に本市の歴史や文化に触れていただくことに寄与しており、効果をあげている。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	平等に利用することができ、適正である。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	開発が進む三輪地区の歴史文化及び散策コースの情報発信に効果があるため、今後も継続して実施する。



# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1740090 \_ 005

## 【1.基本情報】

事業名	ウォーキングコース整備					
担当部名	都市建設部			担当課名	歴史まちづくり課	
実施方法	直営		補助等の種類	実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	24	年度～	年度	根拠法令・関連計画	社会資本整備計画

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	目的地まで歩行者が歩きを楽しみながら移動する快適な歩行環境づくりを行う。					
内容 (手段・手法など)	主要導線及びウォーキングコースに路面標示及び案内板を設置する。					
事業の 対象	何を	路面標示及び案内板				
	誰に	市民及び観光客				
	どのくらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>路面標示:長良橋通り57枚、金華橋通り43枚、御鯰街道48枚</li> <li>案内板:長良川ウォーキングコース2基</li> </ul>				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	163	5	162	5	159	5
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	163	5	162	5	159	5

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		767	768	766
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	点検清掃・修繕多言語化	767	768	766
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		767	768	766

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	930	930	925

## 【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	930	930	925

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	市民及び観光客	市民及び観光客	市民及び観光客
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	路面標示の貼付		単位	枚
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	148	148	148	
実績値	148	148	148	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	本市の歴史や文化に触れる人数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	21,000	21,000	21,000	
実績値	23,879	20,000	23,228	
達成状況	○(達成)	×(未達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	歩行者が歩きを楽しみながら移動できる環境は必要性が高い。 歩行環境の整備は自治体が担う必要がある。 歩きながら、トイレや施設までの距離、歩数、消費カロリーなどの情報が得られるサービスは他になく、必要である。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか(広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	まちなかを安心して、また健康を意識して歩いてもらえる効果とコストを比較すると妥当である。 市政モニターへのアンケートにより、ニーズがある路線に施工している。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	目標を超える多くの方に本市の歴史や文化に触れていただくことに寄与しており、効果をあげている。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	平等に利用することができ、適正である。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	安心して街中を歩いてもらいかつ、健康を意識してもらうために、引き続き路面標示などにより、トイレや施設までの距離、歩数、消費カロリーなどの情報を提供していく。また、近年増加している外国人観光客に対応するため、多言語化を順次進めていく。